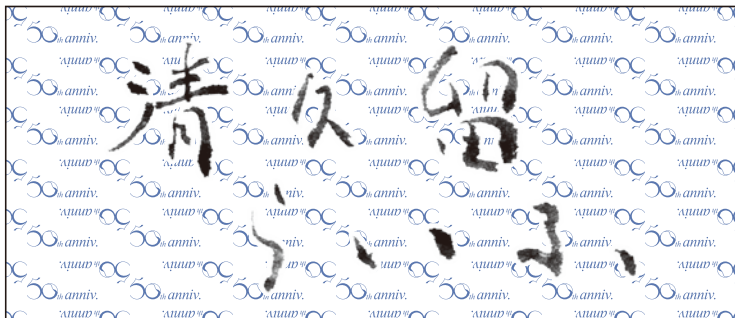


10月11日(日)
東京土建の日開催!!

今年も清瀬で開催します。
詳細は裏面をご覧ください。



発行所

東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部教育宣伝部

〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17

TEL 042-473-8751

FAX 042-473-8753

発行者 尾 芦 富 雄

編集者 滝 澤 康 平



原水爆禁止2026世界大会

被爆後81年目の広島へ

以前から一度は足を運んでみたいと思っていたが、今回縁がた広島でしたが、今回縁があつて原水爆禁止2026世界大会(8月4日～6日)に参加させていただきまし

た。2日目(8月5日)分科会で『核兵器のない平和で公正な世界の為』というテーマで話を聞きました。核抑止力等の話で



▲平和公園を散策して、原爆ドームにも訪れました

初日は総会のほうに出まして、海外及び国内の代表者の方々の挨拶で始まり皆様の話が中心でした。開

会総会が終わって清瀬久留米支部からの代表3人で原爆ドームを見て、平和記念公園を視察しながら広島平和記念資料館へと足を運びまし

た。進めば進むほど残酷な衣類、写真等が展示されており、本当に現実にあつたんだと、改めて戦争の残した傷跡なんだと目に焼き

ついた。平和な生活が81年前の朝8時15分に一瞬で失われ、多くの被爆者がしのげない戦争での原爆の恐怖を初めて感じまし

た。戦後生まれの私は今や日本は平和である事が当たり前のよう

に生きて来ましたが、小学生の時に、はだしのゲンを見て戦争での原爆の恐怖を初めて感じまし

た。戦後生まれの私は今や日本は平和である事が当たり前のよう



被爆者による体験談

被爆者による体験談

被爆者による体験談

被爆者による体験談

被爆者による体験談

被爆者による体験談

被爆者による体験談

鰻料理で大盤振る舞い 北浅分会暑気払い

暑い夏の疲れを吹き飛ばそうと北浅分会で7月24日(土)に暑気払いが開催されました。



▲食事をしながら楽しく盛り上がりました

ギ料理店の「田川」で開催しました。今回は初参加の防務業の組合員7人を迎え、楽しく交流しました。蛭間分会長の乾杯の発声で会がスタート、美味しい食

事とお酒に会話が弾みます。また、初参加の仲間に対しては、10月の東京土建の日への協力要請など役員も今後の関係づくりに熱が入ります。玉木書記長から

は、「東京土建の取り組みは参加してもらおう事で、楽しさが理解できると思うので、これからも声を掛けていきます」と今後に向けた発言もありました。

最後は手締めて楽しい暑気払いを閉会しました。

分会担当書記 本島厚司

元塩分会 木村直子

本部ボウリング大会への切符を
掴むのは誰だ!!

後継者対策部主催
ボウリング大会



▲真剣にボールを投じている様子

7月26日(日)後継者対策部主催のボウリング大会を久米川ボウルで開催しました。組合員23人、家族7人で計30人が参加。これまで支部の活動やイベントに参加した事の無い仲間の参

加もありました。当日は各分会から幅広い世代の仲間が集まり、渡邊後継者対策部長の開会あいさつの後、皆さん久しぶり



▲30人の仲間が参加しました

のボウリングで大変盛り上がりしました。2ゲームの合計で点数を競い、上位3名となった、塩澤さん(松竹分会)、柳橋さん(滝山分会)、佐藤さん(青空分会)には部長より賞品が手渡され、来年行われる東京土建本部ボウリング大会への参加依頼がありました。その後場所を変えて交流会も行い、食事とお酒を楽しみながら、久々のボウリング大会の感想で話が弾み、参加者同士楽しく交流し閉会となりました。

書記局 池崎健司

令和8年10月11日(日)
午前10時~午後3時
※強雨・荒天の際は開催を中止します

第8回
東京土建の日
in 清瀬市立清瀬第七小学校

遊びにおいでよ!!

お菓子まきたよ
上棟式
全員集合!

模擬店
屋台が
ずらりと
並びます!

重機体験
パワーショベルを
運転しよう!

ステージ
パフォーマンス
みんなで
盛りあろう!

家族みんなで楽しめる!
イベントが
もりだくさん!

主催
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部
東久留米市中央町
5-10-17
Tel.042-473-8751
後援:清瀬市

お願い
ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
車・バイク・自転車での来場はご遠慮ください。

ご興味のある方は電話にて
ご連絡ください。



▲大人も子供もプールで楽しみました

「夏といえばプール!」という事で何人も入って遊ぶことのできる大きなプールを用意しました。当日は大人も子供も一緒にびしょ濡れになってプールで遊び、BBQでおいしいお肉を堪能しました。まるで少年に戻ったかのように水遊びを楽しんでいた部員の姿が印

8月23日(日)に支部1階で開催され、青年部員、家族など15人が参加しました。昨年も夏に支部の1階でBBQを開催し、それが好評だったという事で今年はさらに盛り上がり、交流を深めることができるように青年部会で話し合いを行い開催に向けて準備を行ってききました。家族や子供がいる部員が増えてきたこともあり、大人も子供も楽しめるような機会にしたという意見が多くあり、



▲参加者で乾杯をする様子

夏の終わりに最高の思い出を
青年部夏のBBQ

象的でした。里山青年部長は「参加したみんなが楽しんでくれてうれしい。これからも同じ年代の仲間の良い青年部を作っていく」と話していました。最

「夏といえはプール!」という事で何人も入って遊ぶことのできる大きなプールを用意しました。当日は大人も子供も一緒にびしょ濡れになってプールで遊び、BBQでおいしいお肉を堪能しました。まるで少年に戻ったかのように水遊びを楽しんでいた部員の姿が印象的でした。里山青年部長は「参加したみんなが楽しんでくれてうれしい。これからも同じ年代の仲間が良い青年部を作っていく」と話していました。最後は全員で一本締めを行い終了しました。夏の終わりに楽しい思い出を作ることができました。

青年部担当書記

滝澤康平

2025年5月14日正午に脳内出血を起こしました。中目黒駅近くで、朝からいつもと変わらず作業をしていました。お昼になったので5人で駅前の「俺の塩」に入店しました。その時はまだいつも通りでした。15分程してラーメンが運ばれ、箸を割って麺を掴もうとしたら掴めなくなりました。そして時の流れがゆっくりに感じました。仲間が自分の異変に気が付いたようで、「どうしたの?大丈夫?」と声を掛けてくれました。が自分には数十秒しか経ってない感覚でした。そこからは、自分の感覚と仲間達の見た目が異なってきました。仲間の話では、「箸を2、3回落として動かなくなったよ。だから声を掛けたよ。」と話していました。自分では、箸を1回落としたのは記憶しており、「大丈夫だ

よ。」と返したのも覚えていたのです。が仲間達は「いつもと様子が違うよ。」「何かヤバイよ。」という話になり「病院へ行こう。」と言われ、店の外に連れ出されました。自分の感覚では「大丈夫だし、大袈裟だろ。」と思いました。それに「ラーメンを食べたいな。」と思っていました。しかし、タクシーに乗せられ、2人で病院に行くことになりました。タクシーの運転手さんに「近くの病院に行ってください。」と話し、東邦大学医療センター大橋病院に行く事になりました。病院に着くと、肩で担がれ入りました。この辺りから記憶も意識も途切れ途切れになってきました。覚えていているのは、「タクシーではなく救急車を呼んでください。」と言われた事で、ストレッチャーに横になってからは何も覚えていません。

青空分会 長谷川 重之

次号に続く:

あらかると

あれから1年経ちました